

# I 令和2年(2020年)度 事業報告

## 1. 事業活動の概要

本財団は、優秀な人材の育成を図り、学問の研究等を奨励し、社会の発展と福祉に寄与することを目的として、全国の証券会社等関係機関からのご寄附により、1973年(昭和48)7月1日に文部大臣の許可を受けて設立され、2011年9月16日より公益財団法人に移行し、現在に至っています。

今年度は、新型コロナ・ウイルス感染症拡大による奨学生の窮状に鑑み、その支援のため緊急奨学金を給与したほか、ウイルス感染症拡大防止の観点から、各事業に伴う式典・イベント等について、オンラインの併用による開催もしくは見送りとするなど、例年とは異なる状況下で事業を遂行するため努力を重ねた一年となりました。

### (1) 奨学事業

将来社会の各分野において指導的役割を担う人材を育成するとの趣旨により、大学生・大学院生への奨学事業を行っており、設立以来の奨学生修了者は、留学生を含め2021年3月末日現在3,787名になっています。

今年度は、新規に54名を採用し、学年進行者104名と合わせて158名に対し、79,380千円を給与しました。このほか、新型コロナ・ウイルス感染症拡大による奨学生の窮状に鑑み、その支援のため緊急奨学金を1人当たり30千円、学年進行者103名に対し、3,090千円を給与しました。

8月に奨学金授与式(2回)、3月に奨学生修了式をオンラインでの参加を併用し開催しました。

なお、奨学生推薦大学連絡会、奨学生懇談会及び大学毎の集いは、開催を見送りました。

### (2) 研究調査助成事業

高い水準の研究調査を盛んにするとの趣旨により、社会科学の各分野の研究調査を対象に助成事業を行っています。

今年度、研究調査助成は7名に対し6,710千円を給付し、研究出版助成は7名に対し7,000千円を給付しました。また、10月に研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式を、オンラインでの参加を併用し、開催しました。

### (3) 証券奨学同友会支援事業

本事業は、奨学生修了者で組織する証券奨学同友会(以下「同友会」という)が

行う活動を支援するものです。

今年度は、5月に関東地区、6月に関西地区において予定していた総会と懇親会は見送りました。9月に同友会関西地区幹事の編集により発刊された同友会報第46号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

## 2. 事業活動の状況

### (1) 奨学事業

#### ① 奨学金の給与

新規採用した54名及び学年進行者104名の合計158名に対し、奨学金79,380千円を給与しました。その状況は、以下の表1～表4のとおりです。

新規採用者は、指定大学30校に対し4月1日から5月22日まで募集を行い、28大学から61名の推薦候補者に対して、面接は実施せず書面による評価を経て、7月13日の奨学生選考委員会による選考の結果を受け、7月20日の理事会で決定したものです。

今年度は、新型コロナ・ウイルス感染症拡大による奨学生の窮状に鑑み、緊急奨学金を、学年進行者103名に対して1人当たり30千円、3,090千円を給与しました。

(表1) 令和2年(2020年)度の奨学生数及び奨学金給与額

(単位：名、千円)

区分	博士課程	修士課程	学部	計
学年進行者	8	21	75	104
新規採用者	8	12	34	54
計	16	32	110	158
奨学金給与額	8,880 (210)	18,600 (630)	51,900 (2,250)	79,380 (3,090)

(注1) 給与月額額は、今年度の新規採用者から、一律45,000円(55,000円)です。2019年以前の奨学生は、博士課程45,000円(55,000円)、修士課程40,000円(50,000円)、学部35,000円(45,000円)です。博士課程は3年間、修士課程は2年間、学部は2年次から3年間を給与期間としています。 ※括弧書きは自宅外通学者

(注2) 今年度中、博士課程1名、修士1名、学部13名の計15名が留学等により給与を休止しています。

(注3) 表内の括弧書きは、緊急奨学金(外書き)。

(注4) 学年進行者104名のうち1名が4月に辞退修了したことで緊急奨学金を辞退しています。

(表2) 令和2年(2020年)度の新規採用奨学生の所属学部等

(単位:名)

区 分		人数	学部・研究科
博士課程	文系	2	法学(2)
	理系	6	理学(1)、理工情報生命学(1)、工学(1)、 先進理工系科学(1)、医学(1)、保健学(1)
修士課程	文系	8	経済学(3)、法学(2)、法学政治学(1)、司法(1)、 現代社会文化(1)
	理系	4	理工学(3)、工学(1)
学 部	文系	28	法学(8)、経済学(6)、商学(2)、文学(1)、 社会学(2)、経済経営学(1)、経営学(1)、 総合政策学(1)、政治経済(1)、政策科学(1)、 人文・文化学(1)、教養学(1)、教育学(1)、 人間健康学(1)
	理系	5	理工学(2)、農学(2)、薬学(1)
	その他	1	総合情報学(1)

(表3) 令和2年(2020年)度奨学生数(大学別)

(単位:名)

区 分 大 学	新規採用者				学年進行者				2020年度奨学生合計			
	博士	修士	学部	計	博士	修士	学部	計	博士	修士	学部	計
北海道大学	1	1	1	3	1	1	5	7	2	2	6	10
東北大学		1	1	2			1	1		1	2	3
新潟大学	1	1	1	3	2		4	6	3	1	5	9
筑波大学	1		1	2		1	1	2	1	1	2	4
お茶の水女子大学						1	3	4		1	3	4
東京大学						1	2	3		1	2	3
東京工業大学		1	1	2	1	1	2	4	1	2	3	6
一橋大学			2	2		1	2	3		1	4	5
東京都立大学		1	1	2	(1) 1		2	(1) 3	(1) 1	1	3	(1) 5
慶應義塾大学			2	2	(1) 2		2	(1) 4	(1) 2		4	(1) 6
上智大学			1	1			4	4			5	5
中央大学			1	1			5	5			6	6
日本大学			1	1		1	3	4		1	4	5
法政大学			1	1		1	2	3		1	3	4
明治大学			2	2		1	4	5		1	6	7
立教大学			2	2			4	4			6	6
早稲田大学	1		1	2		1	2	3	1	1	3	5
横浜国立大学		2		2	1		2	3	1	2	2	5
名古屋大学	(1) 1		1	(1) 2					(1) 1		1	(1) 2
名古屋市立大学			2	2			3	3			5	5
京都大学		1	1	2		2	1	3		3	2	5
同志社大学			3	3			(1) 4	(1) 4			(1) 7	(1) 7
立命館大学		1	1	2		1	2	3		2	3	5
大阪大学						1	2	3		1	2	3
大阪市立大学	1	1		2		1	3	4	1	2	3	6
関西大学			2	2			5	5			7	7
神戸大学		1	1	2		2	2	4		3	3	6
関西学院大学		1	1	2			1	1		1	2	3
広島大学	1		2	3		2	2	4	1	2	4	7
九州大学	1		1	2		2		2	1	2	1	4
計(30大学)	(1) 8	12	34	(1) 54	(2) 8	21	(1) 75	(3) 104	(3) 16	33	(1) 109	(4) 158

(注) 括弧内は、留学生数(内数)。

(表4) 累計の採用奨学生数(大学別)

(単位:名)

大 学	区 分	博士課程	修士課程	学部	合計
北 海 道 大 学		34	42	103	179
東 北 大 学		25	35	108	168
新 潟 大 学		6	31	106	143
筑 波 大 学		3	6	4	13
お 茶 の 水 女 子 大 学		0	4	8	12
東 京 大 学		28	37	109	174
東 京 工 業 大 学		31	37	97	165
一 橋 大 学		32	34	96	162
東 京 都 立 大 学		30	34	106	170
慶 應 義 塾 大 学		30	37	113	180
上 智 大 学		30	34	112	176
中 央 大 学		3	23	86	112
日 本 大 学		1	4	12	17
法 政 大 学		0	19	77	96
明 治 大 学		0	27	78	105
立 教 大 学		3	21	82	106
早 稲 田 大 学		31	37	103	171
横 浜 国 立 大 学		2	4	8	14
名 古 屋 大 学		32	23	106	161
名 古 屋 市 立 大 学		0	1	39	40
京 都 大 学		28	48	103	179
同 志 社 大 学		0	19	80	99
立 命 館 大 学		0	22	68	90
大 阪 大 学		24	39	92	155
大 阪 市 立 大 学		32	38	100	170
関 西 大 学		0	9	74	83
神 戸 大 学		32	34	94	160
関 西 学 院 大 学		25	35	108	168
広 島 大 学		34	35	97	166
九 州 大 学		27	36	97	160
計 (指定大学 30校)		523	805	2,466	3,794

(注) 旧留学生制度による留学生を除く。

② 奨学生修了状況

今年度は、奨学生 71 名（博士課程 5 名、修士課程 21 名、学部 45 名。早期卒業等に伴う修了者を含む。）が修了しました。

その状況は、表 5 及び表 6 のとおりです。

(表 5) 令和 2 年 (2020 年) 度奨学生修了者の就職・進学状況

(単位：名)

区 分		博士課程	修士課程	学 部	合 計	備 考
(1)就 職		3	15	23	41	
内 訳	一般企業 その他	2	10	16	28	株式会社 26 名 その他 2 名
	大学等 研究機関	1			1	その他 1 名
	公務員		5	7	12	国家公務員 1 名 地方公務員 11 名
(2)進 学			1	12	13	同大学大学院 6 名 他大学大学院 4 名
(3)在 学		2	1	4	7	辞退 4 名 修了 3 名
(4)そ の 他			4	6	10	司法修習 2 名 進路未定 8 名
計		5	21	45	71	

(注)「(1) 就職」のその他は、公的機関等に就職した者です。

「(3) 在学」の、辞退は日本学生支援機構給付型奨学金受給者、修了のうち 2 名は日本学術振興会特別研究員 DC2 採用者です。

(表6) 年度別の奨学生修了者数

(単位：名)

学 種 修了年	大学院生		大学生	合 計
	博士課程	修士課程		
1976～2015	475	698	2,187	3,360
2016	4	12	41	57
2017	3	13	41	57
2018	8	20	37	65
2019	4	17	33	54
2020	5	21	45	71
総 計	499	781	2,384	3,664

(注) 辞退者を含み、2013年度までの留学生(旧留学生制度)を除く。

### ③ 奨学金授与式

2020年度(第47回)奨学金授与式は、8月19日(水)午後5時より、8月21日(金)午後7時より、本財団会議室においてオンラインでの参加を併用し開催しました。

理事長及び奨学生選考委員長にご出席いただき、役員、評議員、奨学生選考委員にはオンラインによりご参加いただきました。また、面接が実施されなかったことに加え、奨学金授与式もオンライン参加となったことから、新規採用奨学生の人ひとりをよく知るために54名全員にスピーチをしてもらうこととし、日程を2日に分けて開催しました。

#### ○ 両日の次第

開式	一、 挨拶	理 事 長	稲 野 和 利
	一、 挨拶	奨学生選考委員長	佐々木 正 峰
	一、	来賓紹介	
	一、	スピーチ	院 生：将来の計画と研究内容 学部生：将来に向けて実践している或いは計画していること
閉式			

#### ④ 奨学生修了式

2020年度(第46回)奨学生修了式は、3月12日(金)午後3時より東京証券会館において開催しました。出席者を最小限に限定するため、修了者71名のうち、各課程の代表者3名以外はオンラインでの参加としました。

##### ○ 当日の次第

開式	一、 挨拶 理事長	稲野 和利
	一、 挨拶 奨学生選考委員長	佐々木 正峰
	一、 奨学生修了証書、記念品授与	
	一、 謝辞 博士課程生代表 慶應義塾大学大学院	周 郷 万里菜
	修士課程生代表 東京大学大学院	細 川 悠 暉
	学部生代表 上智大学	浅 野 乃有里
	一、 祝辞 奨学生選考副委員長	小 林 康 夫
閉式		

#### ⑤ 奨学生推薦大学連絡会

例年、奨学生選考委員から推薦大学の担当者に対して、当年度の奨学生選考の経緯等についての説明を行い、資質優秀な学生の推薦をお願いし、また奨学生の支援に関し連携を図るために、毎年奨学金授与式及び奨学生修了式の式典当日に開催しています。

今年度は、奨学金授与式及び奨学生修了式をオンラインにより開催したことにより、開催を見送りました。

#### ⑥ 奨学生指導関係

例年、民間の財団なるが故に可能とされる「心の通った奨学制度」を目指したいとの思いから、奨学生が所属大学あるいは学部の垣根を越えて互いに交流し合える場として、「奨学生懇談会」を開催しています。

今年度の奨学生懇談会は、新型コロナ・ウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を見送りました。



## (2) 研究調査助成事業

### ① 研究調査助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、4月1日から6月10日まで募集を行い、申請件数14件、申請総額13,270千円の応募がありました。

7月6日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、7月20日の理事会で助成件数7件、助成金総額6,710千円を決定し、給付しました。

研究調査助成金の申請状況及び受給者は、表7及び表8のとおりです。

(表7) 研究調査助成金の申請状況

イ. 地域 (上段: 申請件数、下段: 申請大学数) (単位: 件、校)

年度	北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	九州	計
2012	0	3	18	1	9	0	2	4	37
	0	3	16	1	6	0	2	4	32
2013	1	2	13	3	6	1	0	3	29
	1	2	13	3	4	1	0	2	26
2014	0	4	11	3	7	0	0	2	27
	0	4	8	3	7	0	0	2	24
2015	0	3	8	2	4	3	1	0	21
	0	3	7	2	4	3	1	0	20
2016	0	0	16	3	4	2	0	5	30
	0	0	14	3	3	2	0	5	27
2017	0	1	10	2	7	0	0	2	22
	0	1	9	2	7	0	0	2	21
2018	0	2	10	2	7	1	0	2	24
	0	2	10	2	6	1	0	2	23
2019	1	2	14	6	5	2	0	1	31
	1	2	12	6	5	2	0	1	29
2020	0	1	6	2	4	0	0	1	14
	0	0	4	0	3	0	0	0	7

## ロ. 年齢

(単位：名)

年度	30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上	計
2012	0	9	18	6	4	4
2013	0	4	17	7	1	29
2014	1	7	14	4	1	27
2015	0	6	8	7	0	21
2016	0	6	11	9	4	30
2017	0	5	6	11	0	22
2018	0	3	14	7	0	24
2019	0	5	12	14	0	31
2020	0	3	5	6	0	14

(注) グループの共同研究者を含まない。

## ハ. 個人・グループ別

(単位：件)

年度	個人	グループ	計
2012	16	21	37
2013	16	13	29
2014	21	6	27
2015	8	13	21
2016	16	14	30
2017	12	10	22
2018	15	9	24
2019	20	11	31
2020	10	4	14

## ニ. 研究期間

(単位：件)

年度	1年以内	1年超 1.5年以内	1.5年超 2年以内	2年超	計
2012	23	2	11	1	37
2013	20	3	5	1	29

2014	18	6	3	0	27
2015	12	0	8	1	21
2016	18	1	3	8	30
2017	11	2	6	3	22
2018	17	3	3	1	24
2019	21	4	4	2	31
2020	11	1	2	0	14

(表8) 令和2年(2020年)度研究調査助成金受給者の一覧

研究代表者	研究調査課題	研究形態	金額 (円)
立教大学 社会学部 教授 イシイ カヨコ 石井 香世子	外国人労働者の再生産権と市民権の検証	個人	900,000
関西大学 商学部 教授 オйкаワ ヒロシ 小井川 広志	マレーシア・イスラム経済のコロナ禍対応：ザカート・サダカの考察	個人	1,000,000
立命館大学 産業社会学部 准教授 カトウ マサトシ 加藤 雅俊	雇用保障重視型福祉国家の再編に関する比較研究－日豪を事例として－	個人	940,000
一橋大学 経済学部 講師 タナカ マリ 田中 万理	コロナ禍がもたらす経済的、政策的不確実性についての研究：中小企業経営者はどのように対応したか？	グループ	1,000,000
東京都立大学 人文社会学部 教授 タンノ キョト 丹野 清人	基礎自治体におけるパンデミック下での外国人労働者受入れの比較研究	個人	870,000
東京大学 社会科学研究所 教授 ホシロ ヒロユキ 保城 広至	時間の国際政治学：国際危機における政策決定過程の分析	個人	1,000,000
京都先端科学大学 経済経営学部 准教授 リ 李 立栄	中国におけるデータ駆動型金融に関する研究	個人	1,000,000
7 件	6,710,000 円		

② 研究出版助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、4月1日から6月10日まで募集を行い、申請件数16件、申請総額15,500千円の応募がありました。

7月6日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、7月20日の理事会で助成件数7件、助成金総額7,000千円を決定し給付しました。

研究出版助成金受給者は、表9のとおりです。

(表9) 令和2年(2020年)度研究出版助成金受給者の一覧

出版代表者(著者)	研究出版物タイトル	出版形態	金額(円)
明治大学 商学部 准教授 アサイ ヨシヒロ 浅井 義裕	中小企業金融における保険の役割	単著	1,000,000
大妻女子大学 人間関係学部 准教授 イノウエ シュウイチ 井上 修一	特養入居者家族が抱く迷いと家族支援	単著	1,000,000
横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授 オガワ シンイチ 小川 慎一	日本的経営としての小集団活動——QCサークルの形成・普及・変容	単著	1,000,000
東京大学大学院 総合文化研究科 特任助教 コンドウ ヨウヘイ 近藤 洋平	正直の徒のイスラーム	単著	1,000,000
東北大学大学院 法学研究科 教授 ニシオカ ススム 西岡 晋	日本型福祉国家再編の言説政治と官僚制——家族政策の「少子化対策」化——	単著	1,000,000
国土舘大学法学部教授 国土舘大学大学院 総合的財産法学研究科 最先端技術関連法研究所 所長 モトヤマ マサヒロ 本山 雅弘	著作隣接権の理論	単著	1,000,000
九州大学大学院 比較社会文化研究院 准教授 ヤマオ ダイ 山尾 大	紛争のインパクトをはかる——世論調査と量的テキスト分析からみるイラクの国家と国民の再編	単著	1,000,000
7 件	7,000,000 円		

### ③ 研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式

2020年度研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式は、10月2日（金）午後2時より東京証券会館において、オンラインでの参加を併用し開催しました。研究調査助成金受給者7名、研究出版助成金受給者6名、役員、評議員、研究調査助成選定委員にご出席いただき開催しました。

#### ○ 次 第

開式	一、挨拶	理事長	稲野和利
	一、挨拶	理事	佐賀卓雄
		研究調査助成選定委員会委員長	
	一、助成金給付書贈呈		
	一、研究調査助成金 受給者代表	立命館大学 産業社会学部准教授	加藤雅俊
	一、研究出版助成金 受給者代表	九州大学大学院 比較社会文化研究院准教授	山尾大
閉式			

### (3) 証券奨学同友会支援事業

同友会は、本財団の奨学生修了者が奨学生時代に培った相互の信頼関係を維持し、一層深めるため、また会員相互の親睦と協調を図るとともに、本財団の発展に寄与することを目的として1977年3月18日に設立され、2020年3月末日現在約3,700名の会員を有している組織です。

当事業は、この同友会が行う活動を支援するものです。

#### ① 同友会定期総会

今年度の5月に関東地区、6月に関西地区において予定していた総会と懇親会は見送りました。

#### ② 同友会報の編集・発行

例年、会員の活動状況、近況報告等を掲載した「証券奨学同友会報」を発行しており、今年度は、9月に同友会関西地区幹事の編集により発刊された同友会報第46号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

### 3. 総務事項

#### (1) 本財団へのご寄附

今年度は、表 10 のとおり個人 10 名、法人 4 件の合計 14 件、6,142,199 円のご寄附がありました。

(表 10) 令和 2 年 (2020 年) 度の寄附者ご芳名

年 月 日	寄 附 者	区分	金額(円)	趣 旨
2020.5.7	元奨学生 山崎貴博殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2020.6.2	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2020.7.20	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2020.9.25	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2020.10.13	匿名	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2020.10.14	匿名	個人	5,000	財団の奨学事業支援のため
2020.12.1	匿名	個人	20,000	財団の奨学事業支援のため
2020.12.2	公益財団法人日本証券経済研究所理事長 本財団元副理事長 増井喜一郎殿	個人	1,000,000	財団の奨学事業支援のため
2020.12.4	SMB C日興証券株式会社執行役員 資産運用委員会委員長 服部博則殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2020.12.21	匿名	個人	200,000	財団の奨学事業支援のため
2021.2.26	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2021.3.4	匿名	法人	47,624	財団の奨学事業支援のため
2021.3.22	匿名	個人	1,000,000	財団の奨学事業支援のため
2021.3.30	日本証券金融株式会社	法人	1,659,575	貸借取引に係る株主優待券等を有効利用 して証券界に寄与するため

## (2) 理事会、監査会、評議員会、委員会等の開催状況

今年度は、以下の諸会議を開催して所管事項について審議決定しました。

### ① 理事会

開催日	議 題
2020年4月30日 (書面) 〈決議日:5月11日〉	(審議事項) 1. 緊急奨学生支援(新型コロナ・ウイルス感染症対応)について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2020年5月20日 (書面) 〈決議日:5月27日〉	(審議事項) 1. 2019年度事業報告及び収支決算について 2. 評議員会(書面)の開催について 3. 資産運用委員会委員の辞任に伴う選任について (報告事項) 4. 理事長及び常務理事の職務執行状況について 5. 新型コロナ・ウイルス感染症拡大への対応状況について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2020年6月16日 (書面) 〈決議日:6月23日〉	(審議事項) 1. 理事長の選定について 2. 常務理事の選定について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2020年7月13日 (書面) 〈決議日:7月20日〉	(審議事項) 1. 2020年度採用奨学生の決定について 2. 2020年度研究調査助成金受給者の決定について 3. 2020年度研究出版助成金受給者の決定について (報告事項) 4. 研究調査助成選定委員会副委員長の選出について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2021年2月2日 (書面) 〈決議日:2月9日〉	(審議事項) 1. 書面評議員会の開催について 以上、いずれも原案どおり承認された。

開催日	議 題
2021年3月2日	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2021年度資産運用計画について</li> <li>2021年度事業計画及び収支予算について</li> <li>2021年度奨学生募集要項について</li> <li>2021年度研究調査助成募集要項及び研究出版助成募集要項について</li> <li>資産運用委員会委員の任期満了に伴う選任について</li> <li>奨学生選考委員会規程の改正について</li> <li>研究調査助成選定委員会規程の改正について</li> <li>顧問及び参与の委嘱基準等の改正について</li> <li>常務理事の退任に伴う新常務理事の選定について</li> <li>顧問及び参与の選任について</li> <li>評議員会の招集について</li> </ol> <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>理事の職務執行状況について</li> <li>2020年度奨学生修了者の就職・進学状況について</li> <li>新型コロナ・ウイルス感染症への対応状況について</li> </ol> <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>

② 監査会

開催日	議 題
5月20日：監査会	<ol style="list-style-type: none"> <li>2019年度事業報告及び収支決算について（監査実施）</li> <li>監査報告書の承認について</li> </ol> <p>以上、監査した結果、2019年度事業報告書及び収支決算書は、適法かつ正確であると承認された。</p>

③ 評議員会

開催日	議 題
2020年5月29日 (書面) 〈決議日：6月5日〉	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2019年度事業報告及び収支決算について</li> <li>理事の任期満了に伴う選任について</li> </ol>



開催日	議 題
	(報告事項) 3. 資産運用委員会委員の辞任に伴う選任について 4. 新型コロナ・ウイルス感染症拡大への対応状況について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2021年2月9日 (書面) 〈決議日:2月16日〉	(審議事項) 1. 理事の退任に伴う新理事の選任について 2. 常勤理事の退任に伴う退職慰労金について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2021年3月17日	(審議事項) 1. 2021年度理事長等の報酬年額について 2. 2021年度の事業計画及び収支予算について (報告事項) 3. 2020年度奨学生修了者の就職・進学状況について 4. 資産運用委員会委員の任期満了に伴う選任について 5. 奨学生選考委員会規程の改正について 6. 研究調査助成選定委員会規程の改正について 7. 常務理事の退任に伴う新常務理事の選定について 8. 顧問及び参与の委嘱基準等の改正について 9. 顧問及び参与の選任について 10. 新型コロナ・ウイルス感染症への対応状況について 以上、いずれも原案どおり承認された。

#### ④ 委員会

##### 1) 奨学生選考委員会

開催日	議 題
2020年7月13日	(審議事項) 1. 2020年度奨学生の選考について 2. 意見交換 3. 今後のスケジュール 以上、原案どおり承認された。

開催日	議 題
2021年2月10日 (書面) 〈決議日2月17日〉	(審議事項) 1. 2021年度奨学生の募集について 以上、いずれも原案どおり承認された。

## 2) 研究調査助成選定委員会

開催日	議 題
2020年7月6日	(審議事項) 1. 副委員長の選出について 2. 2020年度研究調査助成金受給者の選定について 3. 2020年度研究出版助成金受給者の選定について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2021年2月9日 (書面) 〈決議日2月16日〉	(審議事項) 1. 2021年度研究調査助成募集について 2. 2021年度研究出版助成募集について 以上、いずれも原案どおり承認された。

## 3) 資産運用委員会

開催日	議 題
2020年6月16日 (書面) 〈決議日6月22日〉	(審議事項) 1. 資産運用委員会委員長の互選について 以上、原案どおり承認された。
2020年12月8日	(審議事項) 1. 2020年度資産運用状況について 2. 資産クラスの見直しについて 以上、原案どおり承認された。
2021年2月24日	(審議事項) 1. 2020年度資産運用状況について 2. 2021年度資産運用計画について 以上、いずれも原案どおり承認された。

⑤ その他の会議

1) 奨学生選考面接

奨学生選考面接は、新型コロナ・ウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず、書面により評価することとしました。

2) 推薦大学連絡会

推薦大学連絡会は、奨学金授与式及び奨学生修了式をオンラインにより開催したことで、その開催を見送りました。

(3) 役員、評議員、委員の異動状況

今期は、以下の役員、評議員、委員の異動がありました。

① 役員・評議員

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2020年5月29日 (評議員会)	(再任：6月5日) 理事長 稲野和利氏 (一般財団法人地域総合整備財団〈ふるさと財団〉理事長)  常務理事 入木雅和氏(常勤)  理 事 神作裕之氏 (東京大学大学院 教授)  理 事 佐賀卓雄氏 (日本証券経済研究所 名誉研究員)  理 事 佐々木正峰氏 (独立行政法人国立科学博物館 顧問)  理 事 鈴木茂晴氏 (日本証券業協会 会長)  理 事 武樋政司氏 (いちよし証券株式会社 取締役会長)

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
	理 事 藤 田 誠 一 氏 (神戸大学大学院 教授)
2021年2月16日 (評議員会)	(就任：3月3日) 常務理事 松 永 秀 昭 氏 (常勤)  (退任：3月2日) 常務理事 入 木 雅 和 氏 (常勤)

○ 奨学生選考委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2020年2月25日 (理事会)	(再任：4月1日) 委員長 佐々木 正 峰 氏 (独立行政法人国立科学博物館 顧問)  副委員長 小 林 康 夫 氏 (東京大学 名誉教授)  委 員 藍 澤 基 彌 氏 (藍澤証券株式会社 相談役)  委 員 伊 達 悦 朗 氏 (関西大学 教授)  委 員 廣 瀬 克 哉 氏 (法政大学 理事・副学長)  委 員 廣 田 元 孝 氏 (廣田証券株式会社 取締役会長)

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
	<p>委 員 藤 田 誠 一 氏 (神戸大学大学院 教授)</p> <p>委 員 宮 島 司 氏 (慶應義塾大学 名誉教授)</p> <p>委 員 向 山 敦 夫 氏 (大阪市立大学大学院 教授)</p>

○ 研究調査助成選定委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
<p>2020年2月25日 (理事会)</p>	<p>(再任：4月1日)</p> <p>委員長 佐 賀 卓 雄 氏 (日本証券経済研究所 名誉研究員)</p> <p>副委員長 須 藤 時 仁 氏 (獨協大学 教授)</p> <p>委 員 北 川 哲 雄 氏 (東京都立大学 特任教授)</p> <p>委 員 忽 那 憲 治 氏 (神戸大学大学院 教授)</p> <p>委 員 武 川 正 吾 氏 (明治学院大学 教授)</p> <p>委 員 山 下 友 信 氏 (同志社大学大学院 教授)</p>

異動年月日 (承認会議体)	就任・退任
	<p>委員 渡部 亮 氏 (法政大学 名誉教授)</p> <p>(就任：4月1日)</p> <p>委員 柿崎 環 氏 (明治大学 教授)</p> <p>委員 松田 千恵子 氏 (東京都立大学大学院 教授)</p> <p>(退任：2020年3月31日)</p> <p>副委員長 田中 素香 氏 (東北大学 名誉教授)</p>

○ 資産運用委員会

異動年月日 (承認会議体)	就任・退任
<p>2020年5月20日 (理事会)</p>	<p>(就任：5月20日)</p> <p>委員 上山 毅弘 氏 (三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 金融市場トレーディング部長)</p> <p>委員 坂田 秀樹 氏 (野村證券株式会社執行役員)</p> <p>委員 佐々木 大志 氏 (みずほ証券株式会社執行役員)</p> <p>委員 山田 孝志 氏</p>

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
	<p>(大和証券株式会社執行役員)</p> <p>(退任：4月9日)</p> <p>委 員 稲井田 洋 右 氏 (野村証券株式会社 執行役員)</p> <p>委 員 石 井 光 太 氏 (三菱UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社執行役員)</p> <p>委 員 小 松 幹 太 氏 (大和証券株式会社 専務取締役)</p> <p>委 員 吉 澤 洋 氏 (みずほ証券株式会社執行役員)</p>
2020年6月16日 (資産運用委員会)	<p>(就任：6月22日)</p> <p>委員長 服 部 博 則 氏 (SMBC日興証券株式会社 執行役員)</p>

#### (4) 資産運用への取組み

##### ○ 資産運用の基本方針

定款及び資産運用管理規程に則り、資産価値の維持を図ることを旨とし、事業目的の遂行に資するため、最善と考えられる方法により、安定性、継続性及び収益性に配慮した資産運用を行います。

##### i 資産運用状況

安定性、継続性及び収益性に配慮し、今年度は保有する金融商品のうち 4.4 億円の売却を行い、償還金 13 億円と合わせて 17.4 億円（基本財産 17 億円、事業安定積立資産 0.4 億円）により、13 億円の買付けを行いました。

買付の内訳は、基本財産として、国内債券に分類する ETF 3 億円、国内株式に分類する ETF 2 億円、国内 REIT に分類する ETF 1 億円、外国債券に分類する ETF 7 億円でした。また、事業安定積立資産としての買い付けは行いませんでした。

##### ii 次年度の資産運用計画

2021 年度は、2018 年度に作成した中期資産運用計画に基づき、安定性、継続性及び収益性に配慮し、現在保有する金融商品については従前どおり満期まで保有することを原則とし、次年度の償還金 9 億円その他により国内債券、国内株式、国内 REIT 及び外国債券に分類する金融商品の買付けを行います。



## 事業報告の附属明細書

公益財団法人 日本証券奨学財団

※ 事業報告に対する附属明細書はありません。

### Ⅲ 資料編

#### ○ 役員・評議員・委員等名簿

令和3年(2021年)3月31日現在(50音順・敬称略)

#### ● 役員

理事長	稲野和利	一般財団法人地域総合整備財団理事長
常務理事	松永秀昭	常勤
理事	神作裕之	東京大学大学院教授
	佐賀卓雄	日本証券経済研究所名誉研究員
	佐々木正峰	国立科学博物館顧問
	鈴木茂晴	日本証券業協会会長
	武樋政司	いちよし証券株式会社取締役会長
	藤田誠一	神戸大学大学院教授

監事	石井登	立花証券株式会社取締役社長
	甲良好夫	公認会計士甲良好夫事務所公認会計士
	山口隆弘	山和証券株式会社取締役社長

#### ● 評議員

評議員会議長	内藤誠二郎	内藤証券株式会社取締役会長
評議員	宇野勝博	大阪大学教授
	岡地敏則	岡地証券株式会社取締役会長
	古賀信行	野村ホールディングス株式会社特別顧問
	清水啓典	一橋大学名誉教授
	庄司興吉	東京大学名誉教授
	中島隆博	東京大学教授
	前田昌孝	日本経済新聞社編集委員
	森本学	日本証券業協会副会長

#### ● 委員

##### 奨学生選考委員会

委員長	佐々木正峰	国立科学博物館顧問
副委員長	小林康夫	東京大学名誉教授
委員	藍澤基彌	藍澤証券株式会社相談役

伊 達 悦 朗	関西大学教授
廣 瀬 克 哉	法政大学常務理事・副学長
廣 田 元 孝	廣田証券株式会社取締役会長
藤 田 誠 一	神戸大学大学院教授
宮 島 司	慶應義塾大学名誉教授
向 山 敦 夫	大阪市立大学大学院教授

#### 研究調査助成選定委員会

委 員 長	佐 賀 卓 雄	日本証券経済研究所名誉研究員
副 委 員 長	須 藤 時 仁	獨協大学教授
委 員	柿 崎 環	明治大学教授
	北 川 哲 雄	東京都立大学特任教授
	忽 那 憲 治	神戸大学大学院教授
	武 川 正 吾	明治学院大学教授
	松 田 千恵子	東京都立大学大学院教授
	山 下 友 信	同志社大学大学院教授
	渡 部 亮	法政大学名誉教授

#### 資産運用委員会

委 員 長	服 部 博 則	SMBC 日興証券株式会社執行役員
委 員	上 山 毅 弘	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 金融市場トレーディング部長
	加 藤 康 之	東京都立大学特任教授
	坂 田 秀 樹	野村証券株式会社執行役員
	佐々木 大 志	みずほ証券株式会社執行役員
	山 田 孝 志	大和証券株式会社執行役員

#### ● 参 与

田 中 素 香	東北大学名誉教授
増 田 睦	元常務理事（常勤）
入 木 雅 和	前常務理事（常勤）